

3類型	鉱工業品	番号	8-26-006
地域資源名	本場大島紬	認定日	平成26年7月7日
地域	鹿児島県奄美市ほか	所管省庁	経済産業省

事業名：「大島紬里帰りプロジェクト」による、裂き織り生地およびリサイクル商品の製造販売

会社名： 有限会社はじめ商事
 連絡先： TEL:0997-52-1741
 FAX:0997-69-3733

所在地：鹿児島県奄美市名瀬有屋町30-1
 H P: <http://hajimeshoji.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

お客様から袖を通さなくなった大島紬の着物をお預かりし(産地へ里帰り)、既存の大島紬生産工程に、裂いて糸として織り直すという裂き織りの技術を導入して新しい生地に生まれ変わらせて、ご希望の洋服や小物に加工し、再びお客様のもとにお戻しするという「大島紬里帰りプロジェクト」を推進する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

当社が再生加工する裂き織り生地はタテ糸の本数を大島紬と同じ本数にし、また使用する糸も大島紬の糸で、ヨコに入れる裂いた生地も一定の太さに切り揃え織るので、仕上がりが通常の裂き織りと呼ばれている生地と比べても全く異なる強度と風合いを持つので、市場でも高い付加価値を産み出せると考えられる。

◆市場性

かつて、精緻な織りと深みのある独自の色を誇る大島紬の着物は憧れの一枚だったが、今はその多くがひっそりと箆笥の奥に眠っている。多くの方が「貴重なものなのに、もったいない」「受け継いだ大切な着物だから、何かの形で活かしたい」と思っている。全国各地の間屋・小売店からも、「お客様が古い大島紬の処分について悩んでおられる」と言う話を頻繁に耳にするようになり、大島紬リサイクルビジネスの市場は十分存在する。

◆販路

大島紬古着の「回収または買取」から「裂き織り生地加工」、「バッグやベスト等の最終商品加工」、そして「お届けまたは販売」までのリサイクルルートは多様なものが考えられる。テストマーケティングでは、小売店・問屋から、回収の仲介をしたいとの要望が多数寄せられ、リサイクル着物問屋からも在庫となっている大島紬を引き取って欲しいとの要望があった。また、和洋装の生地を扱う問屋筋からは、裂き織り生地の状態で販売してもらえないかとの声も届くようになった。

地域資源における関係事業者との連携

家庭に眠っている大島紬を回収するうえでは、奄美出身者のロコミネットワークを活用しつつ、和服小売店には回収代理店になっていただく。また域内の他加工業者へのアウトソーシングを増やし、多種多様な商品展開を目指すことで大島紬生産技術を伝承する。



レディースベスト



ハンドバッグ